

審議において考慮すべき点（案）

（現状）

平成30年4月に予定される、三保谷小学校と出丸小学校の統合、並びに八ッ保小学校と小見野小学校の統合に伴い、新しい学校の通学区域を編成しなければなりません。

ところで、統合によって学校が閉鎖される地区は、児童が遠距離通学を強いられることから、これを支援するため、現在、川島町小学校統合協議会において、出丸地区、小見野地区（一部を除く）を対象としたスクールバス運行体制の整備を進めております。これにより出丸及び小見野地区の児童の遠距離通学にかかる負担軽減が図られます。

一方、現在、八ッ保小学校の通学区域内に存する山ヶ谷戸字六郎地区等は、八ッ保小学校まで通学距離が3kmを超えることが判明しておりますが、この地区は統合後も学校が存続することから、基本的には、遠距離通学の支援対象としておりません。

（1）通学区域の編成にかかる基本的な考え方について

（仮称）三保谷・出丸小学校の通学区域は、現三保谷小学校通学区域と現出丸小学校通学区域を合わせた区域とし、（仮称）八ッ保・小見野小学校の通学区域は、現八ッ保小学校通学区域と現小見野小学校通学区域を合わせた区域になると考えるが、つぎの(2)の事項を考慮に入れるものとする。

（2）考慮に入れるべき事項について

山ヶ谷戸字六郎地区、字押出地区、字門無地区については「現八ッ保小学校区から分離し、（仮称）三保谷・出丸小学校の通学区域へ編入することとし、遠距離通学の支援対象地区とする。」か、あるいは「現八ッ保小学校区のままとし、当該地区の児童保護者から、（仮称）三保谷・出丸小学校への児童の通学を理由に、区域外就学申請があった場合、これを承認する方向で進める。」こととすべきか検討するものとする。

平成28年9月1日現在

山ヶ谷戸字六郎・字押出・字門無地区における八ッ保小学校就学児童数及び就学
予想児数

(1) 現八ッ保小学校就学児童数 (平成28年度)

山ヶ谷戸字六郎地区在住	4年生	1名
山ヶ谷戸字押出地区在住		0名
山ヶ谷戸字門無地区在住		0名

(2) 未就学児数

山ヶ谷戸字六郎地区在住	1歳	1名
山ヶ谷戸字押出地区在住	1歳	1名
山ヶ谷戸字門無地区在住		0名